

333  
HBS

333 Years of Handel, Bach & Scarlatti  
www.hbs-333.com

ヘンデル・バッハ・スカルラッティ  
生誕333年記念祭 参加公演

イタリアバロックのカンタータ

# ヘンデル「ルクレツィア」



阿部早希子(ソプラノ)



懸田貴嗣(バロック・チェロ)



平井み帆(チェンバロ)

ストラデッラ、ヘンデル、ポルポラ、  
イタリア室内カンタータの変遷

2018年4月26日(木) 19:00 開演 (18:30開場)

東京オペラシティ3F **近江楽堂** (京王新線「初台駅」下車、オペラシティ方面出口3分)

## 曲目

- G.F.ヘンデル:ルクレツィア HWV145
- A.ストラデッラ:美しい薔薇
- N.ポルポラ:今や認めよう、愛の神よ
- P.G.ボーニ:チェロ・ソナタ へ長調 作品1-8
- D.スカルラッティ:ソナタ ロ短調 K.87

チケット (全席自由 100席限定)

前売り 4,000円 ペア券 7,500円 当日 4,500円

チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター tel 03-5353-9999

東京古典楽器センター tel 03-3952-5515

チケットぴあ tel 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/> (Pコード:104-311)

お問合せ

近江楽堂 (松木アートオフィス) tel 03-5353-6937

主催

ミュージズコンサート企画 tel&fax 0422-44-5306

e-mail: [muse\\_cp@mbr.nifty.com](mailto:muse_cp@mbr.nifty.com)

\*曲目は都合により変更になる場合がございます。



バロック時代に起こった新しい音楽形式の一つに「カンタータ」があります。イタリア語の cantare（歌う）という言葉に由来し、バロック時代を通して最も多く作られた声楽形式であるカンタータもまた、時代と共に形を変化させてゆきました。その多くは高い鑑賞能力を持つ貴族階級のパトロン達のために作られ、洗練された趣味と親密さ、また、時として実験的な要素を合わせ持っています。今回のコンサートではストラデッラ、ヘンデル、ポルポラを取り上げ、17世紀後半から18世紀前半に至るイタリアのカンタータの変遷と魅力をご堪能いただけます。どうぞご期待ください！



### 阿部早希子 (ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。イタリア政府給費奨学金など数々の奨学金を得て渡伊。ミラノ市立音楽院歌曲科並びに古楽バロック唱法科、ピアチェンツァ国立音楽院歌曲科修士課程をそれぞれ首席にて卒業。第75回日本音楽コンクール入選並びに岩谷賞、伊・V・ブッキ国際現代音楽コンクール第2位など日伊にて数々の賞を受賞。イタリア各地にて数々のソロリサイタルに出演する他、数々の国際音楽祭に招聘される。またフランス・モンペリエ・オペラ座で開催されたフランス国営ラジオ局Radio France フェスティバルにてラ・ヴェネチアーナ公演、カヴァッリ：オペラ＜アルテミジア＞に準主役で出演しその模様は仏・ラジオ局Radio France及び伊・ラジオ局Radio3にて生中継された。2014年に帰国後はALMレコーズより＜A. ステッファニー：2声のための室内カンタータ集＞が発売され、レコード芸術誌特選盤、読売新聞推薦盤、音楽現代推薦盤に選出された。またリサイタルは朝日新聞、音楽の友、オン・ステージ新聞など各誌で好評され、朝日新聞紙上にてインタビュー記事が掲載された。東京・春・音楽祭、北とびあ国際音楽祭、日伊修交150周年記念・モンテヴェルディ：歌劇＜オルフェオ＞エウリディーチェ役（ジャパン・オルフェオ）、モンテヴェルディ：歌劇＜ポッペアの戴冠＞オッターヴィア役など国内でも出演多数。阿部早希子コンサート情報http://blog.sakikoabe.link



### 懸田貴嗣 (バロック・チェロ)

東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程古楽専攻修了後、文化庁在外派遣研修員としてミラノ市立音楽院古楽科にて学んだ。チェロをガエタノ・ナジッコ、鈴木秀美、藤森亮一の各氏に師事。日本ではバツハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ、レ・ポレアドなど主要な古楽オーケストラ、音楽祭のコンサート、レコーディングに参加。イタリア・ボンポルティ国際古楽コンクール・アンサンブル部門で第1位、聴衆賞を受賞。2005年以降ヨーロッパでも活動を始め、リクレーツィオン・ダルクアディア、ラ・ヴェネチアーナ、イル・コンプレッソ・バロックのメンバーとして、欧州各地の主要な音楽祭での演奏やレコーディング活動を行っている。関わったCD録音はEMI/Virgin、ORF、Glossa、BIS、Creative Core、DENON、ALMなど多くのレーベルに渡る。パーバラ・ヘンドリクス、ロベルト・マメリ、エンリコ・オノフリ、エンリコ・ガッティ、ガエタノ・ナジッコ等海外の著名な演奏家との共演も数多い。CD「ランゼッティ／チェロ・ソナタ集」(ALM)で2012年度第67回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。日本イタリア古楽協会運営委員。2017年度北海道教育大学岩見沢校音楽文化専攻特任准教授。



### 平井み帆 (チェンバロ)

桐朋学園大学ピアノ科卒業。同大学研究科、デン・ハーグ王立音楽院(チェンバロ)専攻修了。有田千代子、ジャック・オッホの各氏に師事。在学中よりユトレヒト古楽フェスティバルに出演する等、ヨーロッパ各地で演奏活動を展開する。1997年帰国。日本各地で活発な演奏活動を行うと共に、CDも多数リリース。2007年発売の「イタリアへの夢」はレコード芸術誌特選盤、音楽現代推薦盤に、2010年発売の「ブクステフーデ：ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロのためのソナタ全集」は文化庁芸術祭レコード部門優秀賞に選ばれた。また、2011年発売の「イタリアへの夢II」はレコード芸術誌特選盤、朝日新聞推薦盤に選ばれると共に、レコード・アカデミー賞にもノミネートされている。楽曲の様式と情感を的確につかんだ通奏低音への信頼も厚く、国内外の多くの演奏家と共演している。2013年には日本スペイン交流400周年行事として、アラソフェスにてD. スカルラッチェを中心としたプログラムのリサイタルを行った。富山古楽協会チェンバロ講師を務める他、名古屋での「チェンバロの魅力を探る」シリーズ、大阪での「本気！通奏低音マスター講座」など各地でチェンバロの魅力を伝えるマスタークラスも行っている。平井み帆公式ウェブサイトhttp://hirai-miho.music.cocan.jp/

レコード芸術誌特選盤  
読売新聞推薦盤・音楽現代推薦盤

#### A. ステッファニー： 2声のための室内カンタータ集

Agostino Steffani:  
Cantate da camera a due voci

阿部早希子(ソプラノ) ロベルト・バルコーニ  
(カウンターテノール)レナート・ドルチーニ(バリトン)  
福島康晴(テノール)懸田貴嗣(バロック・チェロ)



[収録曲]A.ステッファニー：私は嘲笑う／私のことを惜しむ暇くだろう／貴女はとても風変わり／草原から持ち去るこの花は／嵐のような旋風が他

ALCD-1143

平成24年度第67回文化庁芸術祭優秀賞受賞

#### ランゼッティ：チェロ・ソナタ集

Salvatore LANZETTI:  
Sonate a Violoncello Solo e Basso Continuo

懸田貴嗣(チェロ) 渡邊孝(チェンバロ)



[収録曲]S.ランゼッティ：チェロと通奏低音のための12のソナタ集 op.1(1736)より チェロ・ソナタ第5番 短調／第2番 長調／第4番 長調／第1番 長調／第3番 二長調／第6番 変ロ長調

ALCD-1131

第49回レコード・アカデミー賞ノミネート  
レコード芸術誌特選盤・朝日新聞推薦盤

#### イタリアへの夢 II ～イタリア・バロック室内楽の妙技～

Sognando l'Italia II  
Virtuosismo e cantabilità della musica barocca italiana

太田光子(リコーダー)平井み帆(チェンバロ)



[収録曲]P.B. ベルッソニーニ：フォリア／D. スカルラッチェ：ソナタ長調 K.144／A. ベラリディ：カンツォネ第6番～室内カプリッチョ>他

ALCD-1124